

彼岸(Paramitā <sup>ハラミツ</sup>波羅蜜)会とは、この欲望の世界・現実  
(<sup>シガン</sup>此岸)から幸せの理想の世界・悟りの世界(彼岸)に至る為の  
修行の期間です。我々人間は彼岸に渡るために、下記の  
<sup>ロッパラミツ</sup>六波羅蜜を修しなければなりません。

- ① <sup>フセ</sup>布施 衣食や物を与えたり、真理を教えたり、安心を施すこと。
- ② <sup>ジカイ</sup>持戒 戒律を守り、節度ある生活をする。
- ③ <sup>ニンニク</sup>忍辱 苦難にくじけず耐え忍ぶこと。
- ④ <sup>ショウジン</sup>精進 真実の道を求めて一生懸命努力実践すること。
- ⑤ <sup>ゼンジョウ</sup>禅定 精神を統一し安定させること。
- ⑥ <sup>チエ</sup>智慧 真実を正しく理解すること。

聖徳太子の時代より始まったと云う日本独自の宗教行事、彼岸会。春分の日、秋分の日を中日とする前後三日の一週間に行ないます。